

図書館だより



姫路高校図書館
2023年6月8日

夏の風物詩

今年も「読書感想文」の季節がやってきました。

第69回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書（高等学校の部）3作品各2冊が入っています。

1、2年生の皆さんは夏休みの課題となります。

新着本コーナーにありますので今から準備しましょう！



ラブカは静かに弓を持つ(集英社) 著者：安壇 美緒

孤独な青年・橘は、上司からの命令で音楽教室に潜入調査へ。チェロ講師・浅葉の生徒となるが、やがて彼の演奏に魅了され……。

【みどころ】少年時代に心に傷を負い、深海魚の一種・ラブカのようにひっそり生きてきた青年が、上司から音楽教室への潜入調査を命じられる。身分を偽り通い始めた教室で師や仲間と出会い、チェロを奏でる歓びに目覚めるが――。

タガヤセ！日本：「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます（河出書房新社）

著者：白石 優生

農業ってこんなに面白い！ 最新の農業から、実はすごい日本の農作物のこと、さらには日本の農業の未来までを語る1冊。

【みどころ】農業ってこんなに面白い！ 若き官僚 YouTuber として多くのメディアにも登場する著者が、最新の農業から、実はすごい日本の農作物のこと、さらには日本の農業の未来までを語る1冊。

昆虫の惑星：虫たちは今日も地球を回す(辰巳出版)

著者：アンヌ・スヴェルトルップ＝ティーゲソン 訳：小林 玲子

ヒトは、多くを昆虫に依存している——。北欧の女性昆虫学者が、奇妙で美しく風変わりな虫たちの世界へ誘うノンフィクション。

【みどころ】虫が苦手という人は多いが、虫の世話になっていない人は地球に1人もいない。あなたの知らないところで黙々と仕事をしている昆虫たち——。ノルウェーの女性昆虫学者が、奇妙で美しく風変わりな虫たちの世界へと誘う。

読書感想文コンクールとは

「読んで世界を広げる、書いて世界をつくる」をテーマに、全国学校図書館協議会と毎日新聞社の主催で毎年開催され、今年で第69回となります。

【「課題読書」と「自由読書」】

読書感想文コンクールの主催者が指定した本（課題図書。前記の3冊です）を読んで書くのが「課題読書」、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。

【感想文は、何のために書くの？】

書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」ともいわれます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

【なぜ本を読むことが大切なのかな？】

一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり、恋をしたり、冒険をしたり——。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることができます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

【読んだ本の本文や解説を以下用いていいのかな？】

読書感想文は、本を読んだの自分思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。そのときは、どうしても必要な部分だけを引用することにして、必ず「」（カギカッコ）でくくきましょう。

【何をどう書けばよいのか、全くわかりません】

本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読みましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのか、自分が一番言いたいことは何なのかがはっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずです。

上記は、読書感想文全国コンクール公式サイト 感想文Q&A より。

さまざまな疑問に答えてくれますよ。

図書委員長より

図書委員長の本庄です。最近、暑くなってきましたね。私も暑くて、この前、アイスを一日に3本も食べました(^ω^)。さて、せっかくの機会ですので、本の紹介でもしましょうか。私のおススメは、カフカの「変身」。

変わったのは男か、家族か。ある朝、目覚めたら、布地の販売員をしているグレゴール・ザムザは虫になっていた。彼の家族はその異形を恐れ、嫌い、生活は一変する。全体的に暗い話ですけど、結構、面白いですよ。様々な作品にこの内容のオマージュがあったり、一回は読んでみてほしいです。短編なので、読みやすいし、図書館にあるので、是非、読んでみてください。6月は雨の季節ですが、気温も暑くなってきました。水分補給はしっかりと取りましょう。

ご協力ありがとうございました

さきに実施した図書館購入希望図書アンケートでは、例年に比べて少ない希望でしたが、回答をありがとうございます。すべての要望に添えるわけではありませんが選書し、夏休み前の特別貸出期間に間に合うようにしたいと思います。選書結果と入荷状況は Classroom に掲載するとともに、図書館内に掲示します。

なお、購入希望図書の受付は随時、行っていますので図書館司書に申し出てください。

また、「雑誌リサイクル」にも協力ありがとうございます。次回は図書のリサイクルを予定しています。

◎ 図書館蔵書数 24,943冊(2023年 6月 6日現在)

2023年 5月18日現在比増 147冊

2016年度以前の蔵書で、コンピュータ処理されていない蔵書は含んでいません。